脳内アトリエ。

夕島唄子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
脳内アトリエ。

【Nコード】
N0712K

【作者名】
夕島唄子

【あらすじ】
思い浮かんだ言葉で文を綴ってゆきます。
きほんてきに自由なので、統一された書き方はしません。
『脳内アトリエ。』の字の如く、時に繊細に時に乱暴に書き上げてゆきます。
よろしかったら覗いていってあげてください。

「さよなら」を１００万回。

今日はこんなにも空が青くて
雲はあんなにも自由なのに
となりに貴方がいなくて　わたしはとてもさみしい。

窓辺に飾った　ふたりの思い出
額縁にはめ込んだ　ふたりの記憶
なんだか妙に鮮やかで
しあわせだけが浮き彫りで。

昨日握ったあなたの右手は　やけに温かったね。
その温さも
いまは愛しい。

「さよなら」を１００万回

あなたに聞こえるように耳もとで囁くから。
「だいすき」を１００万回
あなたに届くようにちゃんと声にするから。
「ごめんね」を１００万回
あなたに知れるように読みあげるから。
「ありがとう」をいっぱい
あなたに伝わるようにいっしょうけんめい祈るから。

だから、こっちを向いてください。
くしゃっていつもみたいに笑ってください。
どうしたの？　って、聞いてください。
悪い夢だったんだよ　って、抱きしめてください。

わたしの声　聞こえますか？

そっちはどんなところですか？

あなたは寒いのが苦手だから、うららかなところだと良いです。

サッカーはできますか？
ボールを追いかけるあなたがいちばんかっこいいと思うので、そうだと良いです。

こっちはとても寒いです。
春なのにあなたがいないこの世界はとても寒いです。

あのね
あなたのとなり　わたしのために空けておいてね。
浮気なんかしたらいやですよ。

やっぱり

「さよなら」を１００万回

あなたの顔を見て思います。

またあなたのとなりに。

「さよなら」

HELLO OH MY GOD.（前書き）

前回の作品を閲覧して下さった方がいらっしゃいましたらありがとうございました。
こちらでお礼を申し上げるかたちになったことをお詫び申し上げます。

HELLO　OH　MY　GOD.

混沌とした世界におはよう。

行き交う騒音のなかで君はなにを見るの？

壁に描かれたラクガキ

まるで死神みたいだ。

HELLO！！　神さま

今日も僕は元気だよ。アンタがくれたおつむだってハッピーさ。

HELL　OH！！　神さま

嫌なことだらけの排他的なこの世界だって休まずグルグルしてやがる。

ＨＥＬＬＯ！！　だからさ神さま
もうすこしだけ、僕らに愛をくれないか。

ああ　今日もまたとなりのオヤジが怒鳴ってる。
うんざりだ！　なんとかしてくれよ！　ＯＨ　ＢＯＹ！！

ねえ聞いてくれよ。　僕のちゃちな夢を。

ある日ベッドの上で目覚めたら、ブルーの目のかわいい天使が僕にキスするんだ！

そしてそのまま僕らはベッドをきしませる。

神さまにバレたら　僕はめっちゃ天罰を喰らうかもね。

ま　かまやしないさ！

ＨＥＬＬＯ！！　神さま

今日はツイてなかったよ。クソみたいな気分だ。

ＨＥＬＬ　ＯＨ！！　神さま

こどもだからってナメたらダメだぜ？

ＨＥＬＬＯ！！　だからさ神さま

アンタのかわいい天使ちゃんを僕におくれよ！

ああ　またママに怒られちゃうかな

おきにいりのCDをかけようぜ

気分がハイなんだ

だからさ神さま　ラッパを吹くのはまだやめてよね

HELLO！！　神さま

今日も僕らは元気だよ。知恵の実の味はもう忘れたけど。

HELL　OH！！　神さま

アンタの息子になってやってもイイぜ？

HELLO！！　だからさ神さま

もうすこしだけ、僕らに愛をくれないか。きっとハッピーな世界にしてみせるよ。

HELLO OH MY GOD.（後書き）

今回は、なんか安っぽいバンドの自作曲っぽさをイメージして書きました。
全国のバンドマンの皆様ごめんなさい。
ここまで読んで下さった方いらっしゃいましたらありがとうございました！

宵闇から偲ばせ

有刺鉄線でできた鳥籠に
今宵も誰かの夢を詰める
嗚呼　今日の夢は何色かしら？
燃える紅
憂う翠
悲しみの蒼
歓びの黄
それとも無垢な純白かしら？

いいえ
どれも素敵だけれど、やっぱり貴方には敵わない

今宵詰めますは、鮮やかな黒
いいえ　深みを帯びた夜色でしょう
今宵詰めますは、艶やかな黒
いいえ、光を嫌う闇色でしょう
総てを貴方で包みこみ　世界に安息の終末を
総てを貴方で染め上げて　世界に耽美の誘惑を

背徳に焦がれよ
違反せよ
聖なるもの貪りたまへ
罪をきせよ

罰を下せ
偽善の甘美に鉄槌を

嗚呼　今宵詰めますは、幽愁なる黒

総てを貴方で包みこみ　抜けられないほどの快楽を
総てを貴方で包みこみ　苦痛さえも愛しく

狗のように這いずり回り
豚のようにお鳴きなさい

黒い夢で魅せますは
此の世の総ての悪逆非道

傷めつけ　痛めつけ

貴方を溺れさせましょう

恐れることは有りませぬ

原罪の黒

総てその身を御任せなさい

宵闇から偲ばせ（後書き）

今回は某歌手（ユニット？）のような感じに。
こういうちゃんとしたっていうか、妖艶な感じの文は難しいですね。
なんか、テキトーにそれっぽい言葉を並べたらその場限りではキレイに感じれるんですが、後から見直したらなんだかやけに安っぽくなってたりして…。
言葉選びに悩みます…。

ここまで読んで下さった方、いらっしゃいましたらありがとうございました！

眠りの樹海

深い深い　無意識の底
まどろむジュレにも似ている
乳白色の海を漂えば　すこしは気分も晴れるだろう
疲れたってぼやくのなら　一言ささやいてごらんよ

ｈａｌｌｅｌｕｊａｈ！！
此処は　眠りの樹海（もり）
痛みも悲しみもないところ
ｈａｌｌｅｌｕｊａｈ！！
此処は　沈黙の樹海（もり）

優しさに満ち満ちたところ

こころゆくまで　おやすみなさい

月の光も届かない
此処が終わり

なにも懼れなくてかまわない
なにもあなたを責めやしない

ぜんぶ　此処では意味のないこと

ｈａｌｌｅｌｕｊａｈ！！

此処は　眠りの樹海（もり）

自意識の向こうにある世界

ｈａｌｌｅｌｕｊａｈ！！

此処は　沈黙の樹海（もり）

孤立した自我の墓場

ｈａｌｌｅｌｕｊａｈ！！

此処は　眠りの樹海（もり）

一度堕ちれば抜け出せない

境界線のない意識のスラム

混ざり合う自我の果て

ｈａｌｌｅｌｕｊａｈ！！

此処は　眠りの樹海（もり）

いつでもあなたをまっている

別れの言葉。

サクラの花もまだ咲かない
薄ら寒い春の朝
駅のホーム　電車を見送り
学び舎へとゆっくり歩く

よく寄ったコンビニ
他愛のない会話
走るとゆれる歩道橋
長い坂道　けっきょく息は切れてしまって

のぼる階段
見える校舎
なんだか急に寂しくて

不安で不安でしょうがなかった

傷つけあったこともあった

それでも

君に出会えた　みんなに出会えた

それだけですべてが温かかった

だから

今日で「さよなら」なんて言わないで

約束しよう

僕らはきっとまた会える

８：３０　いつだって間に合わなかった

チャイムを横流しに　階段を駆け上がった

君とよくいた空き教室

授業もよく抜けだしたっけ

怒られてばかりだった
涙流すこともあった
どうしようもないときや
諦めたくなったとき
いつでもとなりには君がいて

涙と同じだけ笑顔があった
喜びと同じだけ悲しみもあった

それでも
君と出会えて　みんなに出会えて
分かち合った今日までが
なによりもキラキラまぶしくて

だから
今日で「さよなら」なんて言わないで

約束しよう
僕らはきっとまた会える

いつかオトナになったとき
今日を思い出す日がくるだろう
君の声　笑った顔　涙　背中
僕らの約束を

だから　いまは
涙こらえて笑顔で
「ありがとう。」

今日　晴れやかなこの日に

君のとなりにいる　僕を
忘れないで　忘れないで
いつかある日　偶然にまた巡り会えたら
そのときは君と夜を明かそう
だから
今日で「さよなら」じゃなくて
「また会おう」って笑おう
約束しよう
僕らはきっとまた会える

学び舎をあとに　君といた僕の思い出
今日の門出
明日への一歩

忘れない

約束しよう

いつかまた　この場所で

僕らはきっと会える

別れの言葉。（後書き）

『卒業』がテーマです。

つい先日、学び舎を卒業いたしましてですね。卒業式の最中にいろいろ考えていて執筆するに至りました。

私の卒業式は雨でございました。皆さんのは晴れだと良いです。

それではここまで読んで下さったかた、いらっしゃいましたらありがとうございました。

コイハモウモク

視線に気づいて欲しくって
今日もキミに目配せするの
でもね　ダメね
わたしとキミの距離　いま何メートルなの？
「かわいいね」なんて
キミの口から聞いてみたい
でもね　知ってるの
キミはわたしの名前も知らない

恋に恋するわたしには
なりたくないな！
あくまで　キミに恋していたいのです！
だから　おねがい

いつかわたしに気づいてね
それまで　たっぷり
オンナ　を磨いているから！

キミの視界に入りたくって
いつだって一歩先をすまし顔
でもね　ホントはね
キミのとなりを歩きたいの

「好きです」なんて
キミに言ってみたい
でもね　知ってるの
わたし　ただの臆病者なの

恋に恋するわたしには

ならないんだから！
あくまで　キミに恋してるんだから！
だから　あのね
はやくわたしに気づいてよ
それまで　たっぷり
オンナ　を磨いているから！

キミにつりあいたくって
毎日　ヘアアレンジ
指先まで　ネイルアート
キミに覚えてもらいたくって
イマドキ　メイク
鏡にスマイル
ぜんぶ　ぜんぶ

キミに「好き」って
言って欲しいから！

恋に恋するわたしには
なりたくないから！
あくまでキミの『彼女』になりたいの！
だから　もう！　ねぇ！
いますぐわたしに気づいてよ
もっと　キミ好みの
オンナ　になってみせるから！

LOVE is Blind....
Nobody can stop me!

LOVE is Blind....
Nobody can match me!

LOVE is Blind!
LOVE is Blind!

コイハモウモク（後書き）

今回は恋する乙女をテーマに。
実際　こんなに頑張っていたら、　他の殿方が好きになってくれると思うのですが・・・苦笑
恋する乙女は最強なのです。周りなんて見えやしない。
では、ここまで読んでくださったかた、いらっしゃいましたらありがとうございました。

Dash!!

フルスロットルで駆けてゆく
喧騒　モノクロ　灰色の空
イロドリを失くした　世界で
ドコに向かってゆけば　いいの?
『本当の自分見つけたい』なんて
意味ナイ　What do you mean?
そんなダサいコトバ　いらない

That's enough!
I can't stand it!!
立ち尽くすのだけは　やめて
同じ場所にはいたくないの
Get out of my face!!

諦めたフリをするの　もういいよ
あたしは1人でも進んでいくから
You sly dog!! Don't touch me...

強がってるとか指差されても
関係ない　プライドの問題
ヌクモリを捨てた　オトナたち
ドコに向かって　生きているの?

『弱い自分を受け入れて』なんて
言い訳　It's good for nothing.
そのコトバに価値が　あるって言うの?

That's enough!
I can't stand it!!

泣くのだけは　やめて
時間をムダにしたくないの
Ｇｅｔ　ｏｕｔ　ｏｆ　ｍｙ　ｆａｃｅ！！
『いい子』のフリするの　もういいよ
あたしは『悪い子』でもかまわない
Ｙｏｕ　ｓｌｙ　ｄｏｇ！！　Ｄｏｎ'ｔ　ｔｏｕｃｈ　ｍｅ・・・

Ｄｏｎ'ｔ　ｔｅｌｌ　ｍｅ　ｗｈａｔ　ｔｏ　ｄｏ！
Ｄｏｎ'ｔ　ｍａｋｅ　ｆｕｎ　ｏｆ　ｍｅ！
ちっとも　おもしろくなんてないから
Ｄｏｎ'ｔ　ｔｈｉｎｋ　ｙｏｕ　ｃａｎ　ｍａｋｅ　ａ　ｆｏｏ
ｌ　ｏｕｔ　ｏｆ　ｍｅ！
Ｄｏ　ｙｏｕ　ｈａｖｅ　ａｎｙｔｈｉｎｇ　ｔｏ　ｓａｙ？　Ａ
ｈ・・・
ねえ　言われっぱなしでいいの？

That's enough!
I can't stand it!!
甘えるのだけは　やめて
妥協なんてしたくないの
Get out of my face!!
自分にウソつくの　もういいよ
あたしは誰かの『モノ』じゃないから
You sly dog!! Don't touch me...

Ｄａｓｈ！！（後書き）

『Ｄａｓｈ！！』　つまりは「突進する・勢いよく走る」のような意味です。
今回は、若いうちにしか書けないだろうな、と言う感覚で書いてみました。
「いまに抗いたい！」みたいな…。簡単にザックリ言ってしまえば、中二病患者になってみよう！って感じでしょうか…苦笑
でも、こういうスピード感というか、強気な感じの詩って書ける時期って限られていると思うんですよね…。
というわけで、ここまで読んで下さった方いらっしゃいましたらありがとうございました！

バーコードリーダーを持っておいで。

巨大な十字路
忙しないヒトゴミ
路頭を彷徨う　ぼくら
ここはいったい　どこなんだろう

欲しいだけ　ねだって手に入れた
ニセモノだって気づいてて
それでも知らないふりをした

アタマの悪い『コドモ』でいたい
賢い『オトナ』になんかなりたくない

揺れるネオン　消える蝶
朝がくるのが怖かった
量産される微笑みで

世界を埋めたら　平和になるの？
ママの顔も　もう忘れちゃった
同じモノだらけの生温い毎日
くりかえされる痛み　保存される記憶
ホンモノのキミに会いたい

流れる赤　錆びた匂い
すこしまえまで夢をみていた
『愛』を知らない
優しさだって欲しくない
模倣のなかで生きてゆくことが
シアワセだと説くのなら
教えにだって背きましょう
今日は何かが変わるんじゃないかって
ムダに期待

裏切られて

明日の呼吸を探すのももどかしい

いっそ死んだほうがマシだろうか

量産型と呼ばれた僕らの時代

弾ける泡のように

爆ぜる未来　消失という名の願い

ウソだらけの感情

パパの顔も　もう忘れちゃった

生きているって緊張感

失くしてもわからないまま

リアルをキミに求めている

量産されてゆく　僕らの遺伝子

生理食塩水に浸り　眠る

胎動の代わりに　１６ビート
バーコードのついた天使が笑う

オリジナルを追って　血液を逆流
キミに辿り着けたら
もうマネしなくてすむかな
誰かをコピーして
代用の効く自分は　もうイヤなんだ

傷つけて　傷つけて　傷つけて
そしてキミに許してもらえない

三半規管を落っことして
今日も僕らはぐるぐる廻る
ぐるぐるぐるぐる　ぐるぐるぐるぐる

同じところにいるって　気がついて
わけのわからない夢から　目を覚まして

バーコードリーダーを持っておいで。（後書き）

今回は電波な感じ。

抜け出したくても抜け出せないループって、やっぱり誰にでもあると思うのですが…。そんなものをテーマにしてみました。

では、ここまで読んで下さった方、いらっしゃいましたらありがとうございました。

ゆめみて　こいして

真夜中25時
いっぱいいっぱいの思い
光る液晶　あがる心拍

あなたの名前
メールアドレス
わたしのケータイに息衝く　フシギ

「いまなにしてますか？」
なんて　迷惑なだけ
それでも　この胸の高鳴り
今夜も止まない

送信ボタン　怖くて押せない
誤字がないか　必死でチェック

何回見ても　おなじなのに
あなたの名前
恥ずかしくて　ちゃんと見れない
真夜中２６時
月と星だけ　目を覚ましてる

『恋は盲目』　なんて
よく言うけれど
『盲目』になれるほど
わたし　強くない
冷めた目で　見る
鏡のジブン
かわいくない　かわいくない

送信ボタン　押しちゃった
起きてるかしら
迷惑だよね
ウラオモテ　ユレル　コイゴコロ

新着メール　何度も受信
こないと言い聞かせて
それでも期待
何回やってもおなじなのに
あなたからのメール
こなくて　セツナイ
真夜中27時
月も星も　もう眠たくって

ユメミルオトメは今夜も眠らない
瞳を閉じてみるユメじゃ
おなかいっぱいに　ならないもの
コイスルオトメは今夜も眠れない
あなたからのメールだけが
オトメ　眠らす睡眠薬…

なんて、　バカね
わたし

あなたに「好き」って言う練習
かわいく言えない　納得いかいかいない

何回言ってもおなじなのに
あなたのこと全部
恋しくて　さみしい
明け方２８時
月も星も　どこかへ行ってしまう

ユメミテオトメ

コイシテオトメ

ＧＯＯＤ　ＮＩＧＨＴ♪
ＧＯＯＤ　ＭＯＲＮＩＮＮＧ♪
ＤＥＡＬＩＮＧ．．．．．．．．♪

ゆめみて　こいして（後書き）

今回は前にもテーマにした「恋する乙女」をテーマに。
前回は、自信を持とうと行動的・積極的に恋する乙女をイメージしましたが
今回は内気で消極的な感じをイメージしてみました。
私もどちらかと言うと、積極的には動けない方なので、今回の方がなんとなく親近感は湧きます苦笑

では、ここまで読んでくださったかた、いらっしゃいましたらありがとうございました。

まごころを花束に。

あなたの　痛み　のなかで目を覚ます
ここは　とても寒い
「だいじょうぶ？」って声をかけたけど
一向に　返事はない

弱く丸まる　あなたは
わたしの知らない『あなた』
こんなに近くにいるのに　とどかない
とどかない　無力（わたしの手）な気持ち

おしえて　あなたの痛み
わたしはあなた（ここ）の痛みの中にいるのに
となりで握る手からは温もりしかわからないの
おしえて　あなたの苦しみ
一緒に泣いて　となりで眠る

晴れやかな　明日をあなたと

きみの　傷み　のなかで目を覚ます
ここは　とても暗い
「ガマンしなくていいよ」って声をかけたけど
一向に　返事はない

つらそうにうずくまる　きみは
わたしの知らない　『きみ』
わかってたつもりなのに　とどかない
とどかない　無力な（わたしの手）気持ち

おしえて　きみの傷み
わたしはきみ（となり）の傷みの中にいるのに

目の前のきみのつくり笑顔しか見えないの
おしえて　きみの悔しさ
一緒に泣いて　となりで聞くよ
晴れやかな　明日をきみと

『言葉にしなくても伝わるよ』なんて
都合のいい　いいわけだね
逃げないよ　ここにいるよ
ずっと　ずっと　となりで待ってるから
だから　そっとおしえて
あなたのこころ（ホントのきもち）

おしえて　あなたの痛み

わたしはあなたの痛みの中にいるけど
あなたのぜんぶはわかりきれないから
おしえて　あなたの言葉で
一緒に泣いて　となりで笑うよ
穏やかな　明日をあなたと
晴れやかな　明日をあなたと

まごころを花束に。（後書き）

今回でもう10作目…？ですかね。早いものです…！
今回は『痛み』を理解したい、という気持ちをテーマに…。
たいせつな人が辛いとき、すぐにそれがわかればいいのですが。人間そう上手くはできていないようで…。
直接「こう言うことが、いまとても辛いんだ」と、相手側から投げかけてくれればいいのですが、大抵の場合それはありえないですからね…苦笑
でも、大事なのはわかることよりも、わかってあげようとすることや、なんとかしてあげようと思って行動することにあると思います
＾＾

では、ここまで読んで下さったかた、いらっしゃいましたらありがとうございました。

ゲーム

ピストルの代わりにケータイ
閃光弾にも似たネオン
非武装を謳う　わたしたち
今日もこの街は戦場

無表情な　オトナたち
なんのために生きてるの？
下ばかり見ていないで　前を見なさい
できるなら　後ろも

Let's play. Be careful!
こんなところで死にたくないなら
カシコク　ズルク
周り（敵）を出し抜いてみせなよ
Nobody can control us.

やり直し（リセット）の効かないゲームをしてるの
コントローラーは自分で持ちなよ
これはキミのための人生（ゲーム）

戦車の代わりのランボルギーニ
虐殺にも似たリンチ
仮面を被る　わたしたち
今日もこの街は修羅場
飛び降りる　コドモたち
誰のために死んでゆくの？
泣いてないで　前を見なさい
できるなら　睨め

Let's play. Be careful!
あんなふうに生きたくないなら
モガイテ　サケンデ
周り（敵）を見返してみせなよ
Nobody can control us.
一時停止（ポーズ）の効かないゲームをしてるの
コントローラーは自分で握りなよ
これはキミのための人生（ゲーム）

誰かがたてた戦略で戦っても
意味ナイ　でしょ？
誰のための人生（ゲーム）なの
世間体（マニュアル）なんか　ムシしなよ

チャンスは一度だけ

Let's play. Be careful!
誰かの操り人形（オモチャ）になりたくないなら
キバヲムイテ　メヲヒライテ
周り（敵）を蹴散らしてみせなよ
Nobody can control you!
やり直し（リセット）の効かないゲームをしてるの
コントローラーは自分で使いなよ
これはキミのための人生（ゲーム）

これはキミが主役の人生（ゲーム）・・・・

ゲーム（後書き）

人生を『ゲーム』呼ばわりとは、なんとも大胆な感じです…苦笑
『Ｄａｓｈ！！』のときと言い、今回の『ゲーム』と言い、なんだか作風が似てます。
もうマンネリ化が進んでいるのでしょうかね…。いやはや、忌々しき事態です、本当に。
執筆中に、なるべく前回使った言葉は避けるようにしているのですが…。
どうも、テンポやリズム、語呂の良さなどで、よく使ってしまう単語があっていけません苦笑
もっとボキャブラリーを増やさなくてはダメですね…。
では、ここまで読んで下さった方、いらっしゃいましたらありがとうございました！

アネモネ

雨の午後　あなたを想う
窓辺にゆれる　花
軒先に吊るした　ぶさいくな　てるてる坊主
やっぱり　今日も晴れない
期待してみても
ジコケンオに消えてくの
いま　あなたに会いたい

あたし　アネモネ
儚い夢を見るのが　得意なの
風に吹かれて
散る　花びらも持たない
あなたが　すきなの
毒に気をつけてね

晴れた夜　あなたを考える
鉢植に咲いた　花
望遠鏡で覗く　きらきらする　小宇宙
やっぱり　今日もまぶしい

真実を求めても
ジギャク・コウカイに逃げてくの
いま　あなたに触れたい

あたし　アネモネ
儚い恋をするのが　得意なの
風に吹かれて
想いの種　飛ばそうかな

あなたが　すきなの
毒に気をつけてね

薄れゆく希望のなかで
あなただけを愛して
すこし嫉妬もして
風にゆられ　風に吹かれ
お水を　ちょうだい

あたし　アネモネ
恋に苦しむのが　性分なの

風に吹かれて
無邪気に　笑う笑う
あなたが　すきなの
毒に気をつけてね

あたし　アネモネ
毒に気をつけてね

アネモネ（後書き）

今回はお花の『アネモネ』をテーマに。
さて、アネモネの花言葉を知っていますでしょうか？
ここに記載すると長々となってしまう気がするので、それについては活動報告の方に書きたいと思います。
お時間がよろしければ、お付き合いください＾＾

では、ここまで読んで下さった方、いらっしゃいましたらありがとうございました！

Alzheimer.

ベッドに横たわる　わたし
四角に切り抜いた　空
錆びた鳥籠　空っぽのまま
ふたりの思い出　ピアノの旋律
セピア色した　初恋
あなたの匂い
陽だまりの記憶

ダーリン

いつか　壊れた夢しかみられなくなっても
おやすみのキスをくれますか？
朽ちてゆく　わたし　　愛をささやく　あなた
まるでお月さまとお日さまのよう
おやすみ　　おやすみ　　おやすみ

ここにいて

並んで歩いた　散歩道　　けんかした　クリスマス
泣いてばかりのわたし
いつもあなたが抱きしめてくれる
笑いあった　怒鳴りあった
許しあって　手をつないだ
「あなただけを好きでいる」
若かったふたり　　交わした約束

消えてゆく

消えてゆく

消えてゆく

忘れてしまう

ダーリン
いつか　なにもかもなくなってしまっても
愛してるのキスをくれますか？

ダーリン
いつか　自分のことさえ忘れてしまっても
あなたにキスしてもいいですか？
老いてゆく　わたし　欠けてゆく　あなた
まるでなにもなかったかのよう
忘れてゆくことさえ　忘れてゆく
おやすみ　おやすみ　おやすみ
ここにいて

おやすみ　おやすみ　おやすみ

ここにいる

Alzheimer.（後書き）

書いていて、もの凄く気分が沈みました…。
正確には、せつなくなって、そこから一気に現実が見えてきてズーン…って感じです。

どんなに記憶力がダメになって、自分のことすら誰なのか分からなくなっても、きっと一生を添い遂げたいと思えた相手のことなら心のどこかが覚えていると思うんです。
そうであってほしいと願います。
というか、こんな事すら材料にしてしまう自分に自己嫌悪です…。

では、ここまで読んで下さった方、いらっしゃいましたらありがとうございました。

アイデンティティー　喪失編

急いで跳び出した
誰かから逃げるように
でも　どこへ行けばいいの

退屈で　窮屈だと
勘違（思っていた）いしてた世界は
こんなにも広すぎて
足がすくんで　動けない

あたしの居場所が
そこにないと知ったときから
孤独とだってよろしくやってきた
何を求めればいいんだろう
終点はどこなの？
答えがない　出口がない

たくさん傷つけた
花を手折るように
でも　許しは欲しくない

綺麗で　甘いと
勘違《信じてた》いしてた世界は
こんなにも苦すぎて
感覚が麻痺して　わからない

あたしの居場所が
そこにないとわかったときから
嘘とだってよろしくやってきた

どれだけ奪えばいいんだろう
結末はいつ？
答えがない　出口がない

出られないのか　出たくないのか
自意識の境界線　無意識の底
痛みだけが　真実で
悪意だけが　本物で
殻にこもってみる悪夢

あたしの居場所が

どこにもないとわかったときには
それが答えで　それが出口で
ようやく天使とよろしくするのかな
ああ　そう

あたしの居場所が
そこにないと知ったときから
自分とだけよろしくやってきた
いつまで泣けばいいんだろう
枯れるのはまだ？
答えがない　出口がない
生きたくない

死にたくない

アイデンティティー　喪失編（後書き）

重っ！！　マイナス思考すぎる…。

アイデンティティーというテーマだと、まだ書いてみたいヴァージョンがあるので、また同じサブタイトルでＵＰするかもしれません。

今回は、まぁ『アイデンティティー　喪失編』ってところです。

では、ここまで読んで下さった方、いらっしゃいましたらありがとうございました！

コウソクロケット

街灯が眩しくて　星も月もどこかへ逃げていく
あたしも連れてって　なんて
バカだな　そこには何にもないよ

落っこちてゆく　なにかを
拾い集めて　くっつけて
何の意味があるとか　存在意義とか
いまはどうだって　いいじゃない

光の速度で
『自分（あたし）』を見つけにゆこう
怖くない　暗闇だって怖くない
消えないで　誰かの願い

忘れかけていた思い出を　燃やして灰にして
赤い風船を飛ばそう　だって
もうここにいなくていいんだよ

ヒビ割れて壊れてゆく　なにかを
溢さないように　失くさないように
何の価値があるとか　自意識過剰とか
いまはどうだって　いいじゃない

光の速度で
『自分（あたし）』を見つけにゆこう
怖くない　暗闇だって怖くない
消えないで　誰かの夢

逃げ出した　誰かの腕から
鳴らないベル　膝を抱えて待った
終わらない物語　最後のページ破って捨てた
同じことの繰り返し　変わりたかった
変われないって　知ったふり
ほんとは　ただ　怯えていた

光の速度で

光の速度で
『自分（あたし）』を見つけにゆこう

遠回りでも　かまわない
消えないで
誰でもない　あたしの願い

アイデンティティー　旅立ち編

同じ色の服を着て歩く
同じ顔をして笑う
誰かが右を向けば　みんな従い
その中であたしは　ひとりだけ左

許されない存在だとしても
ガムシャラでいいんじゃない？
愛デンｔｉｔｙを探している

あたしだけのオリジナル
難しいことは　言いっこナシよ
スマートになんて生きてられない

同じ速さで歩いてる
同じ価値観を持つのが義務
誰かがＬＯＶＥと主張すれば　みんなもＬＯＶＥ
その中であたしは　ひとりだけＨＡＴＥ
おかしいのはあたし？　それともあなた？
ムガムチュウでいいんじゃない？

愛デンｔｉｔｙを求めている
あたしだけのパーソナル
くだらないなんて　言いっこナシよ
リアリストでなんて生きていられない

あたしのなかのジコドウイツセイが

制御しきれなくて　パンクスンゼン
あたしって　なに？　なに？　なに？　なに？
迷路を抜け出そうよ

愛デンｔｉｔｙを探している
あたしだけのオリジナル
難しいことは　言いっこナシよ
スマートになんて生きてられない
愛デンｔｉｔｙ　それが答え

ワスレナグサ

ノイズの流れるアンテナ折れたラヂオ
かすれて届かないと思い知る
気持ちを折り重ねてつくった
飛べない羽根　見えない目
ここにいるのに　聞こえない
強く強く叫んでいるのに
誰の手にも触れない
落っこちてゆく　願い
あたしを忘れないで

消えてゆく流れ星を追いかけてついでに迷子
ばかみたいに小さな幸せ

気づけなかったすべてのこと
となりに誰がいて欲しくって　なんなのか
ここにいてよと　言えない
強く強く望んでいるのに
誰の背にも触れない
割れてゆく　思い
あたしを忘れてほしい

過ぎてゆくときのなかで
また　だれかを思うだろう
それでも　なんとなく
ぜんぶ　きみに似てしまうのは

どうして　なんだろうね
勿忘草を摘みにいこうか

ここにいるのに　届かない
強く強く叫んでいるのに
きみの手に触れない
落っこちてゆく　願い
あたしを忘れてほしい

きみを忘れたい

あたしを忘れないで

ギャップ

果てしなくつづく輪のなかで
あなたは何色の夢をみるの？
甘い白昼夢の蜃気楼　まどろむ世界は歪んでゆく

壊れてゆく思い出たちを　横目に必死の自己防衛
失くした何かも　もうどこかへ置き去りに

待って
こんなはずじゃなかった
あたしの思い描いていた「世界」はどこへいったの？
道がわからなくなって　うずくまる
誰か導いてよ　ここはもう暗いよ
ああ　錆びて落ちた

善人面で「アイシテイルヨ」
そこに真実はあるのだろうか
痛い思いをするたび　またひとつオトナになっていく気がする

滲んで見えない明日は　あたしを望んでいるのかしら？
蹴り上げたはずの弱さが　なんでここにあるのよ

嫌だ

こんなはずじゃないでしょ
あたしの予想していた「未来」はまだこないの？
ゴールを見失って　膝をついた
終わらせてよ　泣かせてよ
ああ　？げて落ちた

ああ　夜が長い

離脱

黒で塗りつぶした　カンバス
何もない空間　そこに何を見出せばいい
どの言葉も　僕をなぐさめられない
ぬるい雨だけが　全部を連れ去ってゆく

激しい痛みとともに
緩やかな安らぎへの転調
矛盾した甘さのなかで
僕は誰の夢をみる？

鈍い光に誘われて　虫の群れ
ぶつかっても　それに気づけない

愚かさだけが　なんだか僕に似ている
冷めた雨だけが　全部を流してゆく

痺れるような快感とともに
ゆっくりと眠りへの転落
行き過ぎた苦みのなかで
僕は誰の声を聞く？

触れられない　触れたくない
誰かとの境界線
混ざり合う　隔離する
僕の存在意識

激しい痛みとともに
緩やかな安らぎへの転調
矛盾した甘さのなかで
僕は誰の夢をみる？

僕は誰の声を聞く？

甘党

あなたはまるで遠い人
何にも届かない　私の気持ち
もどかしくて歯痒い　空を切る

誰にだってそんな笑顔を見せるのですか
誰にだってそんなに優しくするのですか
私だけ「トクベツ」にはしてくれませんか？

私がみているのはいつだってあなただけ
でも　きっとそんなことは知らないの
甘美な夢　砂糖のなかで眠る
目覚めてしまうのが怖いの
まだまどろんでいたい

わかっているの
いまの距離感に甘えているの
壊すのはとてもかんたん

私にだけ微笑んでくれませんか
私にだけ優しくしてくれませんか
誰とでもそんな風にお喋りしないでくれませんか

あなたの目に映っているのは誰なの
ずるいずるい　うらやましい

甘美な夢　蜜のなかで眠る
知ってしまうのが怖いの
まだこのままでいいの

その横顔がたまらなく憎らしくて愛しい

期待してしまうから
優しくして　優しくしないで
頭撫でて　撫でないで
自惚れてしまうから

でもきっと

誰にでも優しくて　誰にでも微笑んでしまう

そんなあなたがいいの

いつか　目覚める甘美な夢

いまはまだ焦げる砂糖の香りに酔っているから

いつか　終わる甘美な夢

幸福な王子様

優しいふりして近づこう
心は微笑のしたに埋めておこう
歌う金糸雀よりも
かろやかに舞う君がほしい

僕の願いを聞いて
まだここにいて

幸福な王子だなんて呼ばないで
君だけしか見ていないのに
今日も　ほら君はくるだろう
それだけが僕の至福
まだ逃がさない
焦がれる燕は僕のもの

ほら瞳を
ほら釦を
ほら剣を
さあ　どうぞ

君が来るならば
この身が醜くなってもかまわない
偽善の王子
そう呼ばれてもかまわない

暖かさが君を呼ぶなら
僕は涙声で君を縛る

まだいて
もうすこしだけ
あとちょっとだけ

幸福な王子だなんて呼ばれても
僕の心は晴れない
君がいつ消えるか知れない
それだけで僕は苦しい
まだ逃がせない
焦がれる燕は僕のもの
凍える冷たさは
僕の素顔
君が飛び立つというなら
氷の鳥籠で君を縛る
離れてしまうなら

いっそ

幸福な王子だなんて呼ばないで
僕の心を知らないくせに

ほら　まだここにいて
君がいればそれでいいのに

誰かの幸せなんかわからなくてもいい
君だけが僕のそばにいれば
離したくないよ
逃がせない

風切り羽根を?いで
凍れる冷たさで君を縛りつけ

君といられるなら
それが死だって
かまわない

僕は君だけの王子さま

他にはなにも欲しくない

女々しい。

もうなんともないの　と
愛想笑い
脆弱な私はあの日のまま
止まった針は動かせなくて
雨は未だに降り続けている

もう　もう
何も思わないと決めたはずなのに
こんなにも心は弱くて
いつだってあなただけを追って
独り歩きする感情
帰れない　もどれない
もう

悲しいまでに無表情な心
自分にまで吐いた嘘
意気地なし　女々しくて
咲かない花はそのままで
届かなかった声は消えて

まだ　まだ

こんなにもあなただけがほしくて
それなのにもう何も叶わなくて
氷のように振舞いたいのに
勝手に揺らいで
笑えない　嫌えない
まだ

かんたんに捨てきれる
やすっぽい感情じゃないと
自分でわかっているのに
歯止めの効かない
身勝手な思い

まだ　まだ
まだ

すき

もう　もう
何も思わないと決めたはずなのに
こんなにも心は弱くて
いつだってあなただけを追って

独り歩きする感情

帰れない　もどれない

もう

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n0712k/

脳内アトリエ。

2011年10月6日20時39分発行